

# 奈良市消防団だより

～なでしこ新聞～



発行  
奈良市消防団  
〒630-8145  
奈良市八条五丁目  
404-1  
奈良市消防局  
総務課内  
☎ 0742-35-1199  
編集人  
奈良市消防団  
広報指導分団  
中村 亜矢子

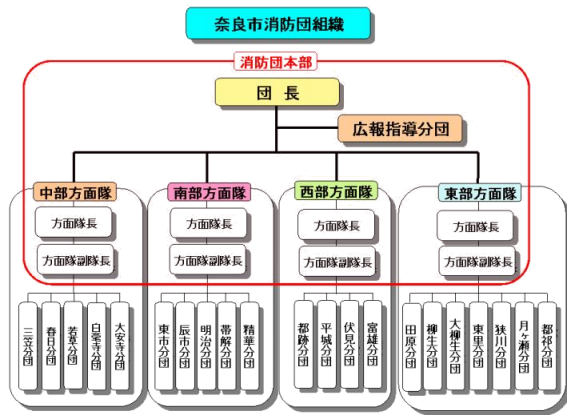
## 奈良市消防団新体制始動

～中室団長を中心に～

奈良市消防団では、中室眞浩団長を迎え「令和」という新しい時代と共に新体制となり『自分たちの町は自分たちで守る』という基本理念のもと、日頃の訓練に励むと共に『安全で安心な町づくり』に取組み続けます。

新体制となり、新入団の団員もいる中、知らないことも多いのではないかと思います、奈良市全域を1本部4方面隊22分団で組織される消防団組織について、各方面隊や各分団の特徴や様々な情報を順次ご紹介します。

今回は東部方面隊から柳生分団と田原分団、都祁分団からいただいた情報です。



### 《中部方面隊》

世界遺産の東大寺をはじめとする歴史的文化遺産や重要文化財、奈良町等伝統的町並みを保有する奈良市の中央部を管轄

### 《南部方面隊》

歴史的な自然環境に富み、市内唯一の工業地域を持ち住宅地、農業、工業用地等で構成された南部地域を管轄

### 《西部方面隊》

薬師寺、平城宮跡をはじめ歴史的風土を持ち、また大阪のベッドタウンとして急速に都市化し住宅地として発展してきた西部地域を管轄

### 《東部方面隊》

広大な森林地域と農業地域を持ち良好な自然環境と名阪国道による恵まれた交通条件を背景に製造業等の企業立地が進んでいる地域を管轄

### 【柳生分団・ラッパ隊】

ラッパ長 西田 浩樹

長い歴史と伝統持つ柳生ラッパ隊は現在25名で活動し、「自分たちの町は自分たちで守る」という郷土愛の精神で消火活動防災、災害訓練などを行っています。こういった普段の活動の合間にラッパ演奏の練習をしています。これからも柳生地域の生命や財産を守るために、そして柳生ラッパ隊としての自覚と誇りを持ち精進してまいります。

### 柳生分団の自慢のラッパ隊！

いります。昨今ラッパ隊の人数も減ってきています。ラッパに興味のある方！魂のラッパを聞かしたるわ！

### 【田原分団・ポンプ車】

副分団長 瀬戸 隆則

田原分団には平成22年に更新されたポンプ車が配備されています。以前のポンプ車は小回りが効かない上にパワステも装備されていなかったため、切り返しが大変でした。今のポンプ車になり劇的に運転がしやすくなりましたが、新たな問題が発生しました。平成29年3月に免許制度が改正され、普通免許で運転できる車両総重量が5トン未満から3.5トン未満に引き下げられ、その結果田原分団の自慢のポンプ車！

改正以降に普通免許を取得した団員は、車両重量3.5トンを超えるポンプ車を運転できなくなるといった状況が生まれています。今のところその影響はありませんが、この先、運転できる団員がいなくなる前に何らかの対策をしなければいけないと考えられています。



田原分団配置のポンプ車



威風堂々！ラッパ隊

奈良県産ブランド《大和牛》100頭を肥育する農家の三代目です。休みのない仕事の中で、消防団での訓練や急な出動の時には、牛の世話などを家族に協力してもらっています。

家族の消防団活動への理解のもと、地域住民の安全・安心の為活動を頑張っています。



我が分団 自慢の「一人」  
都祁分団 中尾分団長

### 広域を管轄する東部方面隊の悩める現状

田原・柳生・大柳生・東里・狭川・月ヶ瀬・都祁

奈良市消防団管轄地域の60%、そしてその大部分が山間部という広範囲を管轄する東部方面隊では山間部ならではの難しさがあります。市街地とは違う、山火事や土砂崩れなどへの出動があること、そして大災害時の通信・交通の遮断によって孤立が懸念される地域であること。東部方面隊管轄地域には東消防署・東部分署・月ヶ瀬分署の3消防署がありますが、災害時それぞれに対策本部を設置するも、情報収集や集約後の指示系統をスムーズに行うための人員配置や通信手段が不足していると感じています。

命を守るため、行政や自治連合会、自治会との連携を取りながら、迅速かつ有効的な活動のために副隊長の増員や無線機数の増加、無線基地局の増設が望ましいと考えています。(団員数：本部3名・団員535名)

東部方面隊 隊長 窪田 喜彦



広報指導分団発足時の集合写真

# 満10歳！ 広報指導分団

## ～やまとなでしこ隊の成り立ち～

2009年に39名で発足し、今年で11年目を迎える「広報指導分団」は、女性消防団員のみで構成され、公募にて名付けられた愛称「やまとなでしこ隊」として、防災広報や応急手当普及活動など、啓発活動を軸に様々な活動を行っています。



やまとなでしこ体操はこうしてできた！

2010年に平城遷都1300年を迎えた奈良において全国の女性消防団員が一堂に会し活動報告を行う「第16回全国女性消防団活性化奈良大会」がなら100年会館で開催されました。この機に市民の方にも親しみやすい愛称を公募し、やまとなでしこ隊と名付けられました。活動の中で応急手当の流れをベースに作った「やまとなでしこ体操」は2012年秋田県で開催された「第18回全国女性消防団員活性化秋田大会」で活動事例として発表し、参加されていた方からは好意的な意見を頂き、今も様々な場所で体操を披露しています。

## 広報指導分団の歩み

発足当初、「応急手当指導」「幼児高齢者指導」「カラーガード隊」の3グループに分かれての活動でしたが、数年前にグループを解消し、現在は分団員全体で活動しています。活動内容は応急手当普及活動では普通救命講習の指導補助員として各事業所や施設への訪問、防災広報活動では保育園や幼稚園などからの要請により防災劇や紙芝居を行っています。また、カラーガード隊はフラッグやバトンを使った演技で消防音楽隊と共に消防広報活動を行っています。日々の出動の他にも「全国女性消防団活性化大会」へ参加しての各女性消防団との交流、防災関連イベントの参加などがあり、2018年にはイオンモール高の原で開催された全国初の「市民メディカルラリー」に参加し優勝。令和元年の今年、11年目を迎える2019年11月には「全国女性消防操法大会」に奈良県代表として出場します。仕事や育児、家事と両立させながら活動に励んでいます。

「やまとなでしこ体操」は分団員全員が応急手当指導員の資格を持ち、どのような場面であっても普及啓発に努める」という理念の元、応急手当の覚えにく



秋田大会での「やまとなでしこ体操」披露

い手技や順番、用語に慣れ親しんでもらうにはどうすればよいか？と、分団員で体操の動きを考えながら簡単で楽しい体操をと試行錯誤を重ねながら作り出しました。どのような音楽にも合うので多くの方に覚えてもらい、一緒に体操でき

## 広報指導分団ってどんな活動をしているの？

### 応急手当指導

指導補助員としての参加が主な活動となります。以前は主に地域の公民館や施設、企業からの要請でしたが、最近は応急手当講習が小・中学校で授業の一環として行われたり、地域イベントで応急手当体験ブースが設置されたりすることも多くなっています。「やまとなでしこ体操」をラジオ体操のように覚えてもらい、いざという時に助かる命を応急手当で次に繋げてほしいという思いで活動しています。

### 防災啓発活動

大きな災害の増加が影響しているのか、近年は保育園や幼稚園などからの要請が増えています。幼少期からの「自助・共助」の大切さを身につけてもらえるように災害時の避難方法を歌と身体での動きで覚える「ちびっこ体操」を作り、活動の中心に取り入れ、訪問先の子ども達と一緒に歌いながら体操しています。また、防災劇では分団員が大人気アニメキャラクターに扮し、劇中にクイズを交

る機会が増えるようにこれからも普及活動を継続していきます。



小学校での防災広報活動

### カラーガード隊

広報指導分団発足と同時に一般の方へのより親しみやすい防災広報を目的に結成されました。消防出初式や小学校訪問等で消防音楽隊と共に活動しています。より良い演技を届けたいという思いで練習に励んでいます。

### 編集後記

今回発行分より、装いも新たに各消防団の活動の様子などを中心に紙面づくりを行いました。今回情報提供などご協力いただきました。今更にお礼申し上げます。今回の紙面づくりに「知らなかった」情報も多く、紙面を通じての情報共有ができればいいなと思います。